



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 株式会社YU-WA Creation Holdings 上場取引所 東
 コード番号 7615 URL <https://www.yuwa-holdings.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 雅親
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 浅香 竜也 (TEL) 03-3639-9191
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年11月30日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,338	12.3	△56	—	△47	—	△53	—
2022年3月期第2四半期	3,862	22.3	△234	—	△213	—	△223	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △53百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 △223百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△4.66	—
2022年3月期第2四半期	△18.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	11,811	4,561	38.6	406.88
2022年3月期	11,857	4,788	40.4	404.37

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,561百万円 2022年3月期 4,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
2023年3月期	—	3.00			
2023年3月期(予想)			—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,723	14.6	156	—	139	731.9	102	—	8.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期2Q	12,498,200株	2022年3月期	15,498,200株
2023年3月期2Q	1,286,789株	2022年3月期	3,657,589株
2023年3月期2Q	11,409,564株	2022年3月期2Q	11,806,753株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 期末自己株式数には、「株式給付型ESOP」が保有する当社株式 (2023年3月期2Q 351,300株、2022年3月期 351,300株) が含まれております。また、「株式給付型ESOP」が保有する当社株式 (2023年3月期2Q 351,300株、2022年3月期2Q 351,300株) を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和が進み、経済活動に持ち直しの動きがみられたものの、原材料やエネルギー価格の高騰、急速な円安の進行などにより、先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

このような環境の中、当社グループでは、引き続き感染拡大の抑制に必要な対策、対応を実施しながら営業活動を行ってまいりました。当社グループにおける各事業部門別の状況は次のとおりであります。

〔和装店舗運営事業〕

和装店舗運営事業の受注高は前年同期比 8.8%増の 4,565 百万円となりました。また、売上高（出荷高）については、10.5%増の 4,204 百万円となりました。既存顧客を対象とした「一般呉服」等の受注高については、引き続き感染拡大防止に努めながら積極的に催事を行った結果、高額商品を中心に販売が好調に推移し、前年同期比 27.0%増となりました。「振袖」販売及びレンタルについては、お客様のレンタル志向やママ振袖（母親が成人式で使用した振袖）に帯や小物を現代風にアレンジして着用するスタイルがより一層強まっていることや、繁忙期であるサマーキャンペーン期間中において高額消費を手控える傾向が見受けられ、受注高は前年同期比 33.0%減となりました。

利益面においては、売上総利益率は前年同期と比べ 1.2 ポイント改善し 64.0%となりました。販売費及び一般管理費については、「一般呉服」等の受注が好調に推移したことに伴う販売促進費等の費用増加はあったものの、中期計画策定のもと前期に引き続き構造改革を進めており、損益分岐点売上高を引き下げる活動を推進しております。前述のとおり売上高が増加したこと及びコストコントロールを行ったことにより、販売費及び一般管理費の対売上高比は 3.0 ポイント改善いたしました。この結果、和装店舗運営事業の営業利益は前年同期比 210.4%増の 275 百万円となりました。

〔その他事業〕

その他事業については、写真スタジオ事業、EC事業を中心に売上高拡大に取り組み、7月には新たに写真スタジオを1店舗オープンいたしました。その結果、売上高は前年同期比 134.5%増と大幅に増加し、134 百万円となりました。一方、写真スタジオ事業における振袖写真撮影需要が下がる時期であることや、新規事業への先行投資や設備投資を行ったこと、新規店舗のオープンコストの発生等により、営業損失は 58 百万円（前年同期は営業損失 54 百万円）となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高については前年同期比12.3%増の4,338百万円となりました。利益面については、営業損失は56百万円（前年同期は営業損失234百万円）、経常損失は47百万円（同 経常損失213百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は53百万円（同 親会社株主に帰属する四半期純損失223百万円）となり、前第2四半期連結累計期間と比較すると大幅に損益状況は改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.5%減少し、9,101百万円となりました。これは、売掛金が85百万円、商品及び製品が67百万円それぞれ増加したこと、また、自己株式の取得を行ったことを主要因として現金及び預金が248百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて0.0%減少し、2,710百万円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.4%減少し、11,811百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.3%増加し、6,780百万円となりました。これは、前受金が245百万円、契約負債が73百万円それぞれ増加し、預り金が188百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.5%増加し、469百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.6%増加し、7,250百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4.7%減少し、4,561百万円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上53百万円、配当金の支払い36百万円及び自己株式の取得145百万円による純資産の減少があったことによるものであります。なお、第1四半期連結会計期間において、資本金の減資及び自己株式の消却を行っております。この結果、資本金、資本剰余金及び自己株式については前連結会計年度末と比較して大きく減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における連結損益は概ね期初計画どおりに進捗しており、2022年5月10日に発表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,969,107	3,720,481
売掛金	2,878,891	2,964,160
商品及び製品	1,576,296	1,643,432
原材料及び貯蔵品	20,237	41,625
その他	701,805	731,690
流動資産合計	9,146,337	9,101,389
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	233,383	267,980
有形固定資産合計	233,383	267,980
無形固定資産		
	74,222	79,050
投資その他の資産		
差入保証金	1,655,200	1,605,200
敷金及び保証金	695,883	700,277
その他	52,133	57,887
投資その他の資産合計	2,403,216	2,363,365
固定資産合計	2,710,822	2,710,396
資産合計	11,857,160	11,811,786

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	222,985	266,248
短期借入金	1,400,000	1,400,000
リース債務	8,138	17,703
未払法人税等	28,467	12,237
前受金	818,715	1,063,797
預り金	2,881,505	2,693,112
賞与引当金	74,000	96,600
前受収益	496,111	481,650
資産除去債務	3,775	—
契約負債	279,540	352,877
その他	414,899	396,230
流動負債合計	6,628,138	6,780,457
固定負債		
リース債務	18,011	39,921
繰延税金負債	1,621	—
株式給付引当金	4,995	13,164
資産除去債務	416,385	416,517
固定負債合計	441,013	469,604
負債合計	7,069,152	7,250,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,215,949	100,000
資本剰余金	1,404,538	464,292
利益剰余金	5,195,404	4,762,712
自己株式	△3,027,884	△765,281
株主資本合計	4,788,007	4,561,724
純資産合計	4,788,007	4,561,724
負債純資産合計	11,857,160	11,811,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	3,862,091	4,338,748
売上原価	1,448,481	1,583,134
売上総利益	2,413,609	2,755,613
販売費及び一般管理費	2,647,613	2,812,563
営業損失(△)	△234,003	△56,949
営業外収益		
受取利息	93	45
助成金収入	23,144	—
受取保険金	4,300	—
補償金収入	—	18,950
雑収入	2,295	2,137
営業外収益合計	29,833	21,133
営業外費用		
支払利息	5,937	8,202
支払手数料	2,000	2,000
雑損失	1,450	1,206
営業外費用合計	9,388	11,409
経常損失(△)	△213,558	△47,225
特別利益		
投資有価証券売却益	600	—
特別利益合計	600	—
特別損失		
固定資産除却損	—	1,166
特別損失合計	—	1,166
税金等調整前四半期純損失(△)	△212,958	△48,392
法人税、住民税及び事業税	16,087	12,237
法人税等調整額	△5,897	△7,411
法人税等合計	10,189	4,826
四半期純損失(△)	△223,148	△53,218
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△223,148	△53,218

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△223,148	△53,218
四半期包括利益	△223,148	△53,218
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△223,148	△53,218
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△212,958	△48,392
減価償却費	32,354	47,101
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,000	22,600
販売促進引当金の増減額(△は減少)	△103,440	—
株式給付引当金の増減額(△は減少)	7,548	8,169
受取利息及び受取配当金	△93	△45
補償金収入	—	△18,950
支払利息	5,937	8,202
投資有価証券売却損益(△は益)	△600	—
固定資産除却損	—	1,166
売上債権の増減額(△は増加)	148,785	178,332
棚卸資産の増減額(△は増加)	△51,688	△77,536
仕入債務の増減額(△は減少)	86,676	43,263
割賦未実現利益の増減額(△は減少)	△449,836	—
前受収益の増減額(△は減少)	510,637	△14,461
契約負債の増減額(△は減少)	127,956	73,337
未払消費税等の増減額(△は減少)	63,879	△12,117
預り金の増減額(△は減少)	△66,397	△188,393
その他	△230,950	△75,066
小計	△143,188	△52,788
利息及び配当金の受取額	93	45
利息の支払額	△5,937	△8,202
補償金の受取額	—	18,950
法人税等の支払額	△71,429	△28,796
法人税等の還付額	53,259	17,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	△167,202	△53,117
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△67,301	△45,416
投資有価証券の売却による収入	600	—
敷金の差入による支出	△13,637	△10,110
敷金の回収による収入	27,179	5,715
差入保証金の回収による収入	150,000	50,000
その他	△46,335	△9,124
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,504	△8,935
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△145,016
配当金の支払額	△36,444	△36,659
その他	△3,867	△5,951
財務活動によるキャッシュ・フロー	△40,311	△187,627
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△157,009	△249,680
現金及び現金同等物の期首残高	4,280,960	3,962,639
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,123,950	3,712,958

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年6月24日開催の定時株主総会の決議に基づき、2022年6月24日付で資本金1,115,949千円を減少し、その全額をその他資本剰余金へ振り替える処理を行いました。

また、2022年5月10日開催の取締役会決議に基づき、自己株式670,000株の取得を行い、同取締役会決議に基づき、2022年6月30日付で自己株式3,000,000株の消却を実施いたしました。

さらに、2022年7月15日付の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式40,800株の処分を行いました。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が100,000千円、資本剰余金が464,292千円、自己株式が765,281千円となっております。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	和装店舗運営事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,804,649	57,442	3,862,091	—	3,862,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,804,649	57,442	3,862,091	—	3,862,091
セグメント利益 又は損失(△)	88,739	△54,977	33,762	△267,766	△234,003

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△267,766千円は本社管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	和装店舗運営事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,204,057	134,690	4,338,748	—	4,338,748
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,204,057	134,690	4,338,748	—	4,338,748
セグメント利益 又は損失 (△)	275,480	△58,863	216,617	△273,566	△56,949

(注) 1 セグメント利益又は損失 (△) の調整額△273,566千円は本社管理費であります。

2 セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。